

# 深よみめんこちゃん

ほくが！わたしが！  
だれがとる？



この遊びから育つもの

思考力の芽生え  
協同性・ルール  
工夫する力・達成感  
自分で考えて自分でしようとする力

Aくんが放り投げたぬいぐるみが、偶然リングにひっかかってしまいました。



それを見ていた子ども達が自分の力で取ろうと考え始めました・・・

最初にNちゃんがフラフープを持ってぬいぐるみを揺らし始め、その姿を見ていたKくんもフラフープを持ってきて揺らしてみますが取れません。



保育者がそうっと後ろから積木を積み上げると・・・

それに気が付いたYくんが積み木を持ってきて高くして、上ってぬいぐるみに手を伸ばして取ることができました。

保育者も子ども達も皆で喜び、楽しかったのか、その後も保育者に「これのせて」と他のぬいぐるみを持ってきて取ってみようとする1ちゃんの姿もありました。

こんなふうにそだってほしいなあ・・・

● どうやったらできるかな、という創造力や工夫する力が遊びの中で育って行ってほしいな。  
● 協力し合って友達と達成する楽しさを味わってほしいな。



いつやる  
いつやる？

Iくんが砂場に穴を掘り、水を入れていました。保育士と話してトンネルと一緒に作り、水を流すことで穴に水がたまり、それを見ていた他児が「入れて」と来たことで遊びが盛り上がりました。「楽しかった！明日もやる！」とやる気のIくん。

室内に戻ると、水をうまく流すためにはどうしたら良いか保育士と一緒に考えていたみんな。保育士に思いを伝え一緒に考えながら、友達と牛乳パックやペットボトルを繋げ水路を作り始めました。

この遊びから育つもの

思考力の芽生え  
協同性  
言葉による伝え合い  
素材の仕組み

水路で実際に試す日を心待ちにしていた子ども達 ↓ いざ水を流してみると・・・

牛乳パックで作った水路は、隙間から水が漏れ、ペットボトルの方が良い事に子ども達は気づきました。SくんとIくんが協力した、ペットボトルが動かないように結び、砂を乗せて固定したりしました。水を勢いよく流すと固定した部分が流れてしまうのでコップで流したり流し方にも工夫したりしながら遊びを進めていました。



またある日は、大きな水たまりの中に、ペットボトルを繋げて水路作りが始まりました。ペットボトルが水に浮いてしまうため、重ねたり筒状にしたりすると良いと気づき、周りの友達に伝え、工夫することで遊びがどんどん広がっていききました。

● こんなふうにそだってほしいなあ・・・

● この遊びをきっかけに、他の協同的な遊びへと繋がって行ってほしいな。



